



1 はじめに

本校は、明治8年に創設され、本年度で創立142年目を迎える。平成17年度末には三浦小学校、平成20年度末には五木西小学校、平成22年度末には五木北小学校がそれぞれ閉校し、本校に統合となった。そのため、平成23年度から村内唯一の小学校となって現在にいたっている。

平成26年度は、ICTを活用した「未来の学校」創造プロジェクト研究指定校として、平成27年度は、全国へき地教育研究大会の分科会会場校として、また、平成28年度より教育課程特例校「英語教育」の指定を受け、英語の教科化に向けて学校総体として英語教育に取り組んでいる。

2 宣言

【昨年度の課題】 電気使用量が前年度を超えた月があった。五木東エコチャレンジの取組状況を定期的に児童に知らせることが必要である。ごみを出さない意識を高めることが大切である。



かんきょうISO「五木東エコチャレンジ」2017



せんげんこうもく

- ① **らないかみはリサイクル**
めいしより大きいかみはリサイクルばこに
- ② **とめて水をせつやくします**
つかうときは、えんぴつ1本の水で
- ③ **をつけよう つけっぱなし**
人がいないときはでんき・エアコンをけす
かえるときはぜんぶのでんきをけし、コンセントもぬこう

【児童 学校版環境 ISO 宣言】

- ① 名刺より大きな紙はリサイクル箱に入れ、ごみを減量します。
- ② 水を使うときは鉛筆1本分。使わない教室の電気を消し、電子黒板のコンセントを抜きます。
- ③ エコキャップを集めます。
- ④ 給食の残菜ゼロを実行します。

【児童 数値目標】

- ① ごみ重量毎月25kg以下。
- ② 水道・電気使用量の前年比減。
コンセント抜き忘れゼロ。
- ③ エコキャップ年間30kg以上。
- ④ 給食の残菜ゼロの継続。

【教職員 学校版環境 ISO 宣言】

- ①照明や OA 機器、空調機器をこまめに消します。
- ②両面印刷・裏紙使用をします。
- ③ごみの分別と減量に努めます。

【教職員 数値目標】

- ①エアコンの設定温度暖房 20 度以下。冷房 28 度以上。
- ②裏紙利用 90%。

3 行動

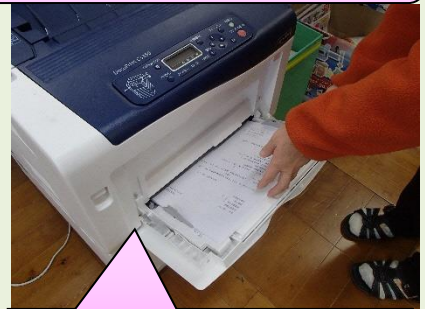
㊦ らない紙はリサイクル 名刺以上の大きさの紙はリサイクル



各教室にリサイクル用紙入れを設置し、委員会で収集。



裏紙はサイズ別に分けて使いやすく。



印刷も積極的に裏紙利用。

㊧ とめて水を節約します



えんぴつ 1 本分で。



雑巾はバケツの水で。

㊨ をつけようつけっぱなし



使わない時はこまめにコンセントを抜く。

エコキャップのリサイクル活動 目標年間 30kg



環境委員会が中心となって、ペットボトルキャップのリサイクル活動に取り組みました。目標の 30kg にあともう少しです。



ごみ減量化 目標 各月 25kg 以下



どの月も目標の25kg以下を達成することができました。



月別燃えるごみ重量(平成29年度)

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1
重量(kg)	6.3	23.5	20	16.5	14	10	9	6	6.5



宣言項目での取組では、環境委員会が中心となり、集計結果を分析し、成果と課題を話し合います。特に、水道使用量や電気使用量、エコキャップは、集会等で定期的にお知らせし、課題を示したり、次回の目標を提示したりしました。

ボランティア清掃活動



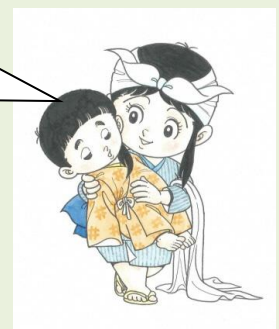
小中合同ボランティア清掃で中学生といっしょに村内の清掃を行いました。故郷を大切にする心を醸成しました。



PTAリサイクル活動



PTAと協力して、空き缶・空き瓶を中心にリサイクル活動を行いました。リサイクルの大切さを改めて感じることができました。



給食残菜ゼロ



給食残菜ゼロを続けています。今後も継続していきます。



わくわく米作り体験



地域の企業である園田農林の協力を得て、昨年度から米作り体験に取り組んでいます。食を大切にし、故郷を大切にする心を醸成しています。



4 記録

エコチャレンジ振り返りシート

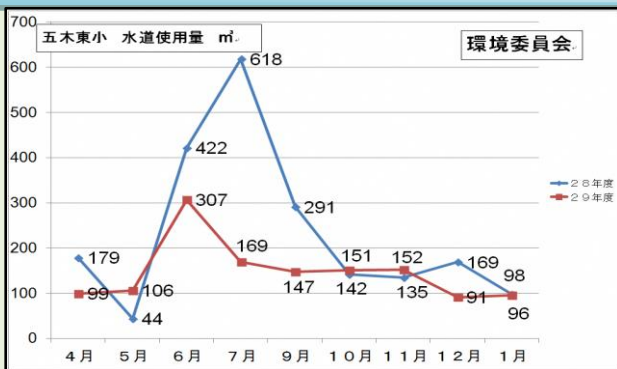
毎月末に、取組状況を振り返り、集会等で結果を知らせ、翌月の取組に生かしました。

各学級で取組を行う。

せんげんこぞく	1学期			2学期			3学期		
	5月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
いらぬかみはリサイクル めいしより大きいかみはリサイクルほこに入れる。									
とめて水をせつやくします つかうときは、えんぴつ1本の水にする。									
きをつけよう つけっぱなし 人がいないときは電源をオフ・エアコンをけす。 かえるときはでんきをけしコンセントもぬく。									

月のおわりにふりかえりをして◎(とてもよい)○(よい)△(もう少し)をかきましょう。

水道使用量と電気使用量のグラフ化



水道使用量と電気使用量の前年度との比較ができるようにグラフ化することで、児童自ら行動する意欲が高まりました。

5 見直し

環境委員会では、10月の環境週間において、上半期のかんきょう ISO「五木東エコチャレンジ2017」の反省・評価から数値目標の見直しを行う。3月には、1年間の振り返りを行い、今年度の課題から来年の目標を設定する。

上半期

【5月～9月】

宣言項目決め
計画作成
五木東エコチャレンジ
2017スタート
実践・評価

中間発表

【10月（環境週間）】

上半期の反省・評価
ボランティア清掃活動
上半期の取組について

下半期

【11月～3月】

実践・評価
1年間の反省・評価
次年度の取組について

6 「五木東エコチャレンジ2017」成果と課題

【成果】

- エコチャレンジふり返しカードの記入、集計を繰り返すことで、水や電気を節約することへの意識が高まった。水の使用量は、前年度と比べて、減らすことができた月が多かった。
- リサイクル紙の回収で、ごみの量を減らすことができた。毎月25kg以下を達成した。
- ペットボトルキャップの収集活動が定着した。
- 継続して取り組むことで、給食の残菜が毎日ないことや、水道の水を使いすぎない、無駄な電気を使わないなど、児童が声をかけ合う姿が見られるようになった。
- 縦割り班を中心に、児童自ら花の栽培に取り組む姿が見られるようになった。毎日1回はプランターの様子を見に行く姿が見られるようになった。休日にも学校に来て花に水をやる姿が見られた。

【課題】

- 電気使用量が前年度を超えた月があった。エアコンの設定温度が20度より高くなっていった教室もあった。エアコンの設定温度にも敏感になるよう、指導の仕方を工夫する必要がある。
- ごみの分別だけでなく、ごみを出さないようにする意識も高めたい。

